

市政アンケートに 寄せられた要望事項から

1) 便利なバスを走らせてほしい

アンケートの中で最も多かったのは、巡回バスなどの運行を希望する声です。

市は、公共交通のあり方について「検討をすすめている」との答弁でしたが、地域でバスを走らせたいとの動きが始まったら支援できるかとの質問には「職員が地域に入って、相談にのるなど支援する」との答弁でした。

2) 小・中学校のエアコンの設置 とトイレの洋式化を計画的に

トイレの洋式化とエアコンの設置についてどこまで進んだのかとの問いに「トイレの洋式化は、小学校37% 中学校47.1% 平均

市議
森
ケ
イ
子

40.2%で今後も計画的にすすめていきたい」、エアコンについては、「財源確保と導入方法について検討中」との答弁でした。

3) 学童保育料の据え置きと 夏休みなどは日割り計算を

2017年の値上げに続き、今後3年連続の値上げとなります。見直すべきだと主張しましたが、「予定通り実施する」との答弁でした。また夏休みなど長期休暇のみ利用するものにも、1ヶ月分の保育料を徴収するのは不当であり、日割り計算か、夏休み・冬休み・春休み料金を設定するよう求めました。「検討する」との答弁でした。

他に免許証自主返納者への奨励制度、介護保険について、資源ごみ収集体制の見直しなどについて質問しました。



保育園給食のセンター化やめよ

現在策定中の第八次行政改革大綱(案)は、民間委託を大幅に拡大する内容です。

市民サービス課、保険年金課など市民生活に直結した各種窓口業務を一括して民間に委託する計画は、偽装請負や市民情報の漏えい、市外業者が受注する恐れ、臨時職員の一斉雇い止めなど問題が多く、止めるべきと質しました。



学校給食センター統廃合

市議
掛
布
ま
ち
子

計画では、業務の民間委託と同時に、市立保育園の給食も9,000食の大規模センターに統合する検討が含まれることが判明しました。

幼児の給食は、手作りおやつや月齢に合った調理、行事に合わせたメニュー、時間の調節など、きめ細かな対応が必要です。自園調理は欠かせません。保育園給食のセンター化を撤回するよう追及しました。

市当局は、窓口業務民間委託は「導入済み自治体を調査研究する」、保育園給食のセンター化については「検討事項に入れるのは当然」と、撤回しませんでした。

国保税の引き上げは反対です

来年から国保制度が県に一本化されます。県が市に「納付金」を割り振り、市は被保険者から徴収した保険税を県に納めることとなります。仮算出した納付金から推計すると1人当たりの保険税は平均で4.91%アップします。払いたくても払いきれないと悲鳴が上がっているのが国保税です。それに来年からは、固定資産税分(資産割)が廃止されることによる影響が新たに加わります。

市は負担を軽減するために、一般会計から平成29年度1人当たり約17,000円の繰り入れを

市議
東
よ
し
き

行っています。県一本化に制度が変わっても引き続き維持するよう質しました。「国の方針と他市の動向を注視し検討する」との答弁でした。

また、申請による国保税の減免制度は、失業・休業等による場合対象になると記載されていますが、自営業者などが景気の影響を受けて所得が減少した時も対象になるかを質しました。

「生活状況を丁寧に聞き取り、適切に対応する」との答弁でした。

